

令和6年度 飯塚市児童センター等運営委員会議事録

1. 日 時 令和6年11月20日（水）午後2時00分～午後3時20分
2. 場 所 飯塚市役所 6F 教育委員会会議室
3. 出席者（委員）飯塚市民生委員児童委員協議会 理事 小池 千津子
一般公募委員 西園 佳七
一般公募委員 渡邊 康子
子育てオアシス 代表 藤江 文雄
NPO 法人飯塚市青少年健全育成会連絡協議会 理事長 下田 稔
飯塚市自治会連合会 理事 久田 幸子
児童クラブ保護者代表 児童クラブ保護者会 江崎 綾子
飯塚市小中学校PTA連合会 副会長 塚本 大
飯塚市子ども会指導者連絡協議会 会長 氷室 敏幸
【欠席】飯塚市立小中学校校長会 会長 合田 賢治
【欠席】一般公募委員 下見 頼子

（事務局）学校教育課 平田課長補佐、花元指導主事、
山野放課後児童係長、下山

4. 議 題
- (1) 児童センター（児童館）及び児童クラブの運営状況について
 - (2) 児童クラブにおける令和6年度からの新たな取り組みについて
 - ①台風等災害時の児童クラブの閉所について
 - ②長期休業中の食事提供について
 - (3) 「児童クラブ活動を柱とした放課後児童の支援ビジョンについて」の改訂について

5. 議事録

議事1 児童センター（児童館）及び児童クラブの運営状況について	
事務局	<p>議案第1号、児童センター（児童館）及び児童クラブの運営状況について説明。</p> <p>渡邊委員より、「各児童センター・ボランティア事業の指導の内容が施設によって種類に偏りがあるように見える。ボランティアへの依頼は各施設だけで行っているのでしょうか」というご質問をいただきました。</p> <p>委託先に確認いたしましたところ、ボランティア事業の利用に関しましては、各施設に任せているとのこと。ボランティア事業は主に生涯学習課の事業でありますボランティアネットワーク事業に登録いただいているボランティアの方々にご協力いただき、手話・工作などを実施している状況であります。このボランティア事業の利用が少ない施設につきましても、各支援員が自ら工夫を凝らし、自分たちで工作や読み聞かせ等を行っております。</p>

	<p>この他、三世代ふれあい交流会につきましては、児童クラブで取り組みを行っております。この三世代ふれあい交流会では、子供たちが日頃の取り組みの成果を発表し、保護者や地域の方々と様々な遊びを一緒に楽しんでおります。</p> <p>また、渡邊委員より、「児童センターにおける子供たちの指導では、学校教育に少ない異学年交流や、遊びを主としたものになってほしい。学校や家庭では発揮できない力を出せる場所になればと思っています。リラックスした場となるセンターでは、子供同士のトラブルも多く、昨今の保護者間対応に苦慮されているかと思っています。労働条件等の配慮も考えていただきたいです」というご意見をいただきました。</p> <p>本市の児童クラブでは異学年の児童で構成された教室もあり、集団活動を行う際には、上の学年の子供たちが下の学年の子供たちをフォローし、下の学年の子供たちは、上の学年の子供たちの姿勢を見て、他者を思いやり、認めることができる子供に成長していております。児童クラブでは宿題を行う時間をとっておりますが、基本的には遊びを主とした時間となっており、自由遊びや集団活動、けん玉や大縄跳び等を行っております。</p> <p>次に支援員の先生方の労働条件につきましては、青少健事務局より、雇用の確保と資質向上に努めていただいております。市としましても、事務局とともに、処遇改善の継続的実施や研修機会の充実を図ることで、先生方にとって働きがいがあり、なおかつ働きやすい職場環境に取り組んでまいりたいと考えております。</p>
藤江会長	質問やご意見等がございましたら、受けたいと思います。
西園委員	<p>今年度から台風とか何か災害があったときに、災害の度合いによって児童クラブを閉めて先生たちも休めるというような体制に変わったみたいですね。先生たちの働きやすさを考えるとすごく良かったなと思っています。今までは開けてもらい、働く者としてはありがたかったです。しかし、「先生たちの身の危険」ということを非常に心配はしていました。そこがまず大きく改善いただいたところを、皆さん、もしご存知なかったら共有したいのが一つと、児童クラブの先生たちを集める（雇用する）のがすごく大変と聞きますが、その原因は何だと思われるか教えていただきたいと思っています。</p>
下田委員	<p>私、NPO 法人飯塚市青少年健全育成会連絡協議会で理事長をしています。</p> <p>飯塚市から児童クラブ 19 施設の委託を受けています。先ほど委員からお話がありましたように、何年前から、当方より飯塚市教育委員会に「先生たちが危険で前泊された施設もあるのでどうかありませんか」ということで、市の方にも再三お話しして、今年文書で学校が休みのときは児童クラブの先生方も危険を承知で出勤しているのでそのあたりを考慮してくださいということをお願いしました。保護者の方としては、開いていたら非常に助かる面もあるのでしょうか、児童クラブの先生方はいろんな危険を感じてでも出勤しているので、今年市にお話したところ、対応してくれるということで本当ありがとうございました。</p> <p>それから、児童クラブの先生方の雇用の方ですけど、19 施設ほとんどの先生たちが高齢化しています。以前は 13 時から 18 時まででしたが、保護者から 1 時間延長できないかという要望がありまして、検討した結果、19 時まで延長利用を行うことになりました。それまでは 18 時までなら働ける先生たちが増えていましたが、19 時までとなりますと、なかなか応募される方がいない状況です。19 時まででは、子供たちが帰って少なくなっても、何かあった時に対応できるように最低 2 人は先生が残る必要があります。理事にもお</p>

	<p>願いしてどうにか先生たちを集めていますけど、それでもなかなか入ってこれないのが現状です。若い方からしたら保育園や幼稚園の方が朝から勤務できるので、そのあたりも申込が少ない理由かなと思い非常に苦慮しています。</p>
江崎委員	<p>私は小学校の子供が児童クラブを利用しており、去年まで1年半ほど児童クラブで支援員補助として働いていました。働いてみて大変だなと思ったのは、私みたいな子育て世代では、時短勤務で、延長なしの18時で上がらせてもらう働き方にしましたが、子供の習い事の送迎とか、子育てしながらでは働きづらかったです。子供が通っているところの児童クラブも私みたいな子育て世代の方はそんなにいらっしゃらなくて、大学生の子育てする前の若い先生とか、あとは子育てを終わられた先生がたくさんいるなという印象です。その中間の子育て世代の方はなかなか働きづらい現状があるなと思っています。</p>
藤江会長	<p>ありがとうございます。他にございませんか。</p>
事務局	<p>私は児童クラブと学校の方を繋ぐ仕事をさせてもらっています。月1回連携会議をさせていただいて、校長先生を初め、担当の先生と児童クラブの先生方の話し合いをしています。するとやっぱり児童クラブで持っている課題は、学校として抱えている課題と結構同じです。子供たちの課題は多種多様化していますので、児童クラブと学校が連携しないとできないこと、例えばしっかりカウンセリングを受けるとか、専門家に相談するとかいうことです。そういうことを連携会議で話をして、繋げる活動をしています。具体的には特別支援学級に変わったりとか、専門家の先生に見ていただいたりとかで、改善しているというのもございます。</p>
藤江会長	<p>はい、ありがとうございます。それぞれ立派な組織とか機関があっても、横の連携が取れていないと孤立した格好になって、100%の成果が得られないと思います。児童クラブのことを申し上げましたけれども、保育所とか幼稚園との連携はどうなっているのか。児童クラブと学校も閉鎖になった場合、保育所や幼稚園にも子供を預けているわけですから、子供に関わることの連携を横に繋いでほしいですね。自分たちのやっていること、自分たちが困っていることを出し合う方が効果があると思いますので、よろしくお願いします。</p>
<p>議事2 児童クラブにおける令和6年度からの新たな取り組みについて</p>	
藤江会長	<p>次に、議題2 「今年度からの新たな取り組みについて」を議題としたいと思います。よろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>私の方から議案2、「児童クラブにおける令和6年度からの新たな取り組みについて」説明いたします。</p> <p>まず一つ目の「台風等災害時の児童クラブの閉所について」ですが、これまで台風接近時や集中豪雨等において、学校が休校となる場合も児童クラブは開所して児童の支援を行ってまいりました。しかしながら、近年、台風や大雨により甚大な被害が出るケースが頻発しております。そうした中、保育所等の保育施設においては、その施設が所在する地区に本市から警戒レベル4以上の避難指示が発令されている場合には、臨時休園する対応を行っております。学校においても、警戒レベル4以上であれば、市内小中学校全て休校の措置をとっております。保育施設や学校の対応を踏まえ、児童クラブにおいても児童と支援員の生命と安全を守るため、学校登校前に所在する地域に警戒レベル4以上の避難情報が発令されたときには、臨時休所する取り扱いにしました。取り扱いの変更時期は令和6年9月6日からとしております。</p>

	<p>次に、「長期休業中の食事提供について」説明いたします。今年度より夏休み期間中の弁当注文を開始し、保護者にアンケートを行いました。この弁当注文サービスは、事前に保護者が登録する必要があります。登録者数は414名、1回以上注文した方は207名でした。注文可能期間である7月22日から8月31日までの月曜日から金曜日までに注文された件数は、全ての施設の合計で783食、1日あたりに換算しますと、平均1日あたり32食でございました。アンケートの目的ですが、これまで児童クラブでは夏休み等の昼食を各家庭で準備していただきましたが、保護者の負担軽減のため、今年度の夏休みより保護者がスマートフォンで注文して、弁当業者が児童クラブに配達するサービスを導入しました。その効果やご意見・ご感想を把握し、今後の運営の参考とするためになります。</p> <p>次に、アンケートの結果についてかいつまんで説明いたします。</p> <p>回答期間は9月13日から9月30日。弁当注文を利用しなかった方を含めた児童全員約2,200人に配布したところ、598件の回答がありました。児童の学年ですが、低学年が半分以上という結果でございました。弁当注文の利用については、「はい」が14%、「いいえ」が86%です。</p> <p>「いいえ」と回答した方に、その理由についても尋ねております。一番多かったのが、「家庭で準備した」で、次に「価格が高い」でした。価格は1食当たり450円で、兄弟のいる家庭は出費が大きくなってしまふことや、毎日注文できる価格ではないという意見が多くありました。「メニューが子ども向けではない、味が濃い」「量が多い、少ない」のご意見も多くありました。弁当は日替わりメニューの1種類で、1年生から6年生まで同じメニュー、同じ量であること、白米ではなく十六穀米であったことが要因と考えられます。メニューは栄養管理士監修の栄養バランスを考慮したものとなっております。</p> <p>ここからは、弁当注文を利用された方に回答していただいた内容になります。味については、半分以上の方が「美味しかった」と回答しております。量については、「ちょうどよい」と同じくらい「多かった」という意見があり、児童クラブは低学年の利用が多いためではないかと思われまふ。価格については、「妥当」が半分以上はありますが、「高い」という意見も半分近い結果となりました。冬休みについては、7割以上の方が「利用したい」とご回答いただいております。</p> <p>アンケートの最後に「ご意見・感想」を自由に記載していただきました。こちらは弁当注文を使用しなかった方も含め、全員に回答していただいております。「助かった。ありがたい。」という意見が多く、今回利用していない方からも、「次回は利用したい」「いざという時に注文できることが心の支えになる」などのご意見をいただいております。ご意見・感想については、弁当業者と児童クラブ、委託先と共有し、今後の運営の参考とさせていただきます。アンケート結果の資料につきましては、市のHPに掲載しております。以上で夏休み弁当注文のアンケート結果について報告を終わります。</p>
藤江会長	はい、ありがとうございます。新しい取り組みで既に実施に入っている分ですが、ご意見ご質問がありましたら、どうぞ。
小池委員	お弁当が注文できるのは進歩的でいいなと思いましたが、最初に注文したらずっと取らないといけないのですか。
事務局	注文は1日単位で可能でございまして、前日の23時59分まで注文可能です。
小池委員	それでしたら利用しやすいですね。自分の手作りの弁当を食べさせたい親御さんは自分

	<p>で作って頑張るというのもできるし、選べるというのが一番いいなと思ってありがたいことだなと思っております。</p>
藤江会長	<p>他にございませんか。はいどうぞ。</p>
西園委員	<p>喜んでいる方もおられ、今回の取り組みを Facebook で「助かります」ってあげている方もいらっしゃると思います。私も実際に注文したことがあります。私が内容を理解してなかったのも、夏休みの終わりに 10 回ぐらいポンと頼んでしまいました。そしたら夏休みまでが 1 回区切りで、何円か残ってしまって、これをどうしたらいいのか、一応冬休みに繰り越せますが、使う方もしっかり勉強しておかないといけないなっていうのが一つ。あとはクーラーのところに置いていただいて、すごくありがたいです。空容器は子供たちそれぞれに持って帰るようにしているのですね。夏場は、そっちの方が逆に衛生的ですね。集める方が児童クラブの先生たちも大変ですからね。土曜日とか給食がない学校の日とかに頼めたらありがたいなっていう要望はありますが、本当に助かっています。</p>
事務局	<p>ご意見の方は、事業者伝えて協議中でございます。全てを反映させるのは難しいと思いますが、できる限り反映していただきたいと思っています。</p>
藤江会長	<p>何かあった時に個人的に尋ねる窓口はどこになりますか。</p>
事務局	<p>注文方法が分からないといったような弁当に関する問合せは全て弁当業者の方になります。保護者がスマートフォンで注文するときに分からない内容をスマートフォンの LINE というアプリで書き込んで送信したら、弁当事業者から自動で返ってくるというシステムになっております。</p>
藤江会長	<p>何かありましたら、いろんな意見を拾ってうまくいくように、あとのフォローをお願いします。</p> <p>では次に参ります。議題 2 の (3) 「児童クラブ活動を柱とした放課後児童の支援ビジョンの改訂について」を事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>お手元の資料 9 をご覧ください。</p> <p>「児童クラブ活動を柱とした放課後児童の支援ビジョン」は令和 2 年 3 月に初版を策定し、令和 6 年 3 月に当初の取り組み期間が終了したため、改訂分を策定し、令和 6 年度から 8 年度までの 3 年間で新たな取り組みとしております。</p> <p>今回改訂したビジョンにおいては、これまでの取り組みに一定の成果があったと判断し、内容は基本的にこれまでの取組を延長する内容となっておりますが、こども家庭庁の創設による新たな子どもの支援施策等を随時把握し、また、本市でも近年増加が著しい、特別な支援や配慮を必要とする子どもや外国語を母語とする児童等、多様性への配慮や対応を検討し、柔軟に内容を見直していくこととしております。</p> <p>令和 2 年 3 月に策定されたビジョンは、児童クラブを中心とした本市の放課後児童の支援について体系的に推進するために基本方針として作成したものになります。飯塚市の放課後児童対策の目標は、「生活や遊びなどの様々な体験を通じて、学年を超えた仲間と協力しながら自ら進んで行動する、『生きる力』を身につけた子どもたちを育てる。」ことです。飯塚市では、放課後児童対策で主に育みたい 3 つの柱として、「主体性」「思いやり」「耐性」を掲げ、児童クラブでは、「大縄跳び・手話・朗読」などに取り組んでいます。その成果は、先ほどご紹介いたしました「3 世代ふれあい交流会」での発表により保護者、学校関係者や地域住民からたくさんの称賛の言葉をいただき、児童の達成感・自己有用感</p>

	<p>の熟成に大きな効果をあげています。</p> <p>以上、簡単ではございますが、「児童クラブ活動を柱とした放課後児童の支援ビジョン」の改訂について、説明を終わります。</p>
藤江会長	<p>はい。ありがとう。事務局から説明がございましたが、何かご意見・質問がありましたらお願いします。</p>
塚本委員	<p>最初に書いてある児童クラブの業務が教育委員会に移管されて、6年が経過し、という経緯とかどういう流れだったのかわからないので、聞かせてもらえたらと思います。</p>
事務局	<p>児童クラブの業務に関しましては、福祉部に所管があるところが多くございまして、飯塚市におきましては、平成 29 年に教育委員会の方に所管を移しまして、集団活動等を行っているような状態であります。教育委員会に移管しましたメリットといたしましては、児童クラブは児童館等で支援を行っておりますが、子どもさんたちの人数が増えた場合に、どうしても部屋が狭くなる場合がございます。その場合に、学校の教室をお借りして支援をする場合がございますが、手続きがスムーズに行えるようになっております。</p> <p>また、先ほど指導主事から説明がございましたが、学校との連携会議の方でも、子供たちの情報をスムーズにやり取りし、よりよい支援につなげております。</p>
塚本委員	<p>教えていただいてありがとうございます。うちは、子供が低学年の時は児童クラブを利用させてもらって非常に助かっていました。対応も本当に親切にしてもらってました。さっきの 3 世代交流会とかも非常に良かったですし、飯塚市だけがこんなにしっかりされているのかなというちょっと疑問があったのと、さらに良くしようという会議なので非常にすごいなと思ってちょっとびっくりして聞いています。</p>
藤江会長	<p>他にございませんか。</p>
下田委員	<p>先ほどの台風災害の閉所と別にですが、もう一つ要望を出しました。19 施設の中で 10 児童クラブの遊戯室にクーラーがありません。この暑さでは遊戯室はありますが、集団生活等のいろんなことができません。また外で遊ばせることもできません。それで二つ、台風の時の閉所と、クーラーを 10 施設、費用は必要と思いますけど、つけてほしいと要望書を出ささせていただきました。予算の関係とかあるとは思いますが、19 施設が全てエアコンがきいて、子供たちが夏とか冬でも遊べたり集団活動ができるように、これは絶対にしてほしいと思います。未来を担う飯塚市の子どもたちのために、10 施設の冷房が効くようにしていただきたいと思います。</p> <p>なかなか先生たちが増えないというのは、雇用の契約が 1 年だからです。だから、今の先生たちも来年度は果たして採用してもらえるのかなという不安もあると思います。最低 3 年更新だったら先生たちも安心して働けるかなと思います。そういうのは事務局もそうです。いまは 4 月 1 日に 1 年契約ということで契約しています。少しでも先生たちが働きやすいように、持っていないといけないと思います。</p>
藤江会長	<p>クーラーとか、基本的なところは、全てなくてはならないと思うんですが、ご意見をいただいたので、見通しはいかがですか。</p>
事務局	<p>いろいろなところから要望は上がってきておまして、それは他の代替でどうにかできないかとかいうのも含めてですね、どのぐらい遊戯室の温度が上がるのかとか、いろいろ状況把握等を今行っているような形ではございます。冷房をそのままつけるだけでは効かない状態になりますので、施設自体を断熱というかそういう工事も含めてしないと、効かないということで工事費用が高くなっていってしまう。そういう状況で今のところ予算的</p>

	<p>には難しいというような形になっております。</p> <p>今年の夏は遊戯室にエアコンがない児童クラブに関しましては、学校のランチルームとちょっと広い学校の部屋を、夏休みの間、貸していただきまして、そこで体を動かせるような形で取り組みを行っております。</p>
藤江会長	他にございますか。はいどうぞ。
西園委員	<p>私も子供を児童クラブや幼稚園に預けて、心置きなく働かせていただいておりますが、児童センターが実態としてはスペースもないし、人員のこともあって、児童クラブがメインになっていると冒頭でお話もあったと思います。それは分かっていますが、子供を多く抱えている、そのうちの1人でも発達障がいの子とかがいたら働きに行けないお母さんだったりとか、いろんな事情を抱えながらみんな児童クラブに入る要件を満たしてなかったりする家庭が多くあったりもします。子供が小さくて上が中学生とか小学生とかいて本当の意味で児童センターという場所にポンと行けない、子供が4人も5人もいる子供の親から、小竹町の児童館だったら土曜日は行けるとか、今度大任町に新しく子育て支援センターが道の駅おおとうのところにできるから私達はそこに行こうとか言われるんですよ。市役所の方とか皆さんも、全ての人にできるだけ暮らしやすいようにっていうのを思われていらっしゃると思います。ただ、そういうお母さんたちが現状にいるっていうことを知っていただきたい。飯塚市が子育て支援センターに行けなくなった子供たちを抱えたお母さんたちの声、子育て支援センター難民がやっぱりいまだにいるってことをわかっていただきたいなと思います。子育て支援センターが6歳まで、小学生に上がると上のお子さんが入ると入れなくなるっていう現状があって、こういう実態があるってことを分かっていたいただきたいなと思います。あと、ちょっとずつでも何か対策をしていただければと思います。</p>
小池委員	<p>すいません。ちょっと話が変わると思うんですが、私は「子ども子育て会議」に出てまして、飯塚市のいろんな状況とか施設とかの会議でそういう支援のあり方を検討するようなところですが、来年度から新しく子ども子育て会議という名前ではなくなるのですが、飯塚市が保育園とも幼稚園とも、いろんなところを一本化して子育て支援に繋げていくというような組織を作るようになっております。そうすると、いろんな意見が聞こえると思います。私は子育て支援にずっと関わっています。街なか(子育て支援センター)とかの話も聞いてたら、「小学生が入れない」とか、「夏休みとかは一緒に入りたいのに、小学生は入ったらいけないよ」とか厳しいことを言われるっていうことを聞いております。飯塚市がもっと柔軟に子どもを何人連れて行っても安心して遊ばれるような場を作れるような会議になると思いますので、そういうところでも意見を出し合い、より良い子育て支援ができるようになったらと思っております。</p>
藤江会長	<p>嬉しい情報ありがとうございます。委員会とか福祉とか言わずにね、やっぱ縦割りは無くして子どもをまんなかにおいて、やっていただきたい。</p> <p>他になければ閉じたいと思いますが、何かありましたら、事務局でも、あるいは藤江の方にも伝えていただければちゃんと繋いでいきたいと思いますので、本日はどうも長い時間ありがとうございました。</p>

<p>会議資料</p>	<p>(当日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度 飯塚市児童センター等運営委員会次第 ・令和6年度 飯塚市児童クラブ 夏休み弁当注文に関するアンケートについて (資料10) <p>(事前送付)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童センター等配置図 (資料1) ・児童センター等の紹介 (資料2) ・令和5年度 児童センター等事業実績 (資料3-1) ・令和6年度 児童センター等事業計画 (資料3-2) ・令和5年度 飯塚市児童センター等外部ボランティア事業報告書 (資料4-1) ・令和6年度 飯塚市児童センター等外部ボランティア事業計画書 (資料4-2) ・児童センター (児童館) 設置状況と利用状況 (資料5) ・児童センター (児童館) 及び児童クラブに係る事業費 (資料6) ・令和6年度 小学校児童数と児童クラブ入所児童数の比率 (資料7) ・令和6年度 児童クラブ入所者数 (令和4年4月1日現在) (資料8) ・児童クラブ活動を中心とした放課後児童の支援ビジョン (資料9) ・児童センター等運営委員会委員名簿
<p>公開・非公開の区分</p>	<p>① 公開 2 一部公開 3 非公開 (傍聴者0人)</p>
<p>その他</p>	